

公共交通ネットワークの充実に向けた取組について （中野区地域公共交通サービス導入の検討）

目 次

- 1 令和4年度運行計画の概要
- 2 令和4年度実証運行結果の検証
- 3 令和4年度実証運行結果の評価
- 4 令和5年度実証運行の運行計画（案）について【協議事項】

2 令和4年度実証運行結果の検証

検証項目

- ① 運行ルート・停留所位置
- ② 運行時間帯・運行本数
- ③ 運賃
- ④ 安全性

2 令和4年度実証運行結果の検証【①運行ルート・停留所位置】

利用実績

令和4年10月18日～令和5年2月28日

本数：平日31便、土休日32便

利用者数	平日	1,602人
	土休日	774人

令和5年3月1日～令和5年3月31日

本数：平日12便、土休日12便

利用者数	平日	268人
	土休日	124人

合計利用者数	平日	1,870人
	土休日	898人
	計	2,768人
1便あたり平均利用者数	平日	0.6人
	土休日	0.6人

2 令和4年度実証運行結果の検証【①運行ルート・停留所位置】

収支率

運行当初は収支率10%を上回っていたが、11月以降は10%を下回る時期が続いた。運行本数削減・運賃割引キャンペーンを実施した令和5年3月は、収支率約10%を達成した。

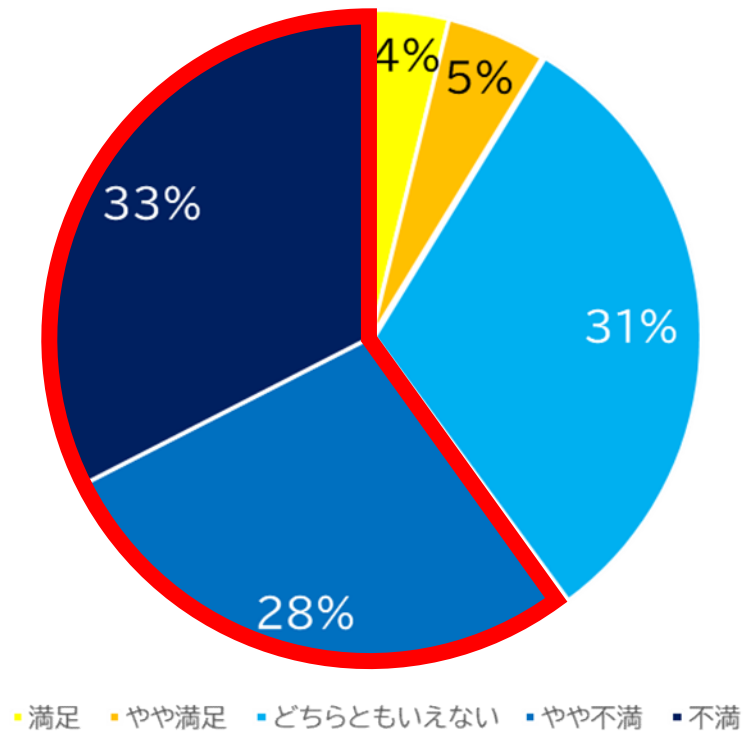
年月	収支率	内訳
令和4年10月	約11%	収入：約 7万円/経費：約 64万円
令和4年11月	約7%	収入：約10万円/経費：約128万円
令和4年12月	約7%	収入：約10万円/経費：約132万円
令和5年1月	約7%	収入：約 9万円/経費：約127万円
令和5年2月	約7%	収入：約 9万円/経費：約128万円
令和5年3月	約10%	収入：約 4万円/経費：約 42万円

2 令和4年度実証運行結果の検証【①運行ルート・停留所位置】

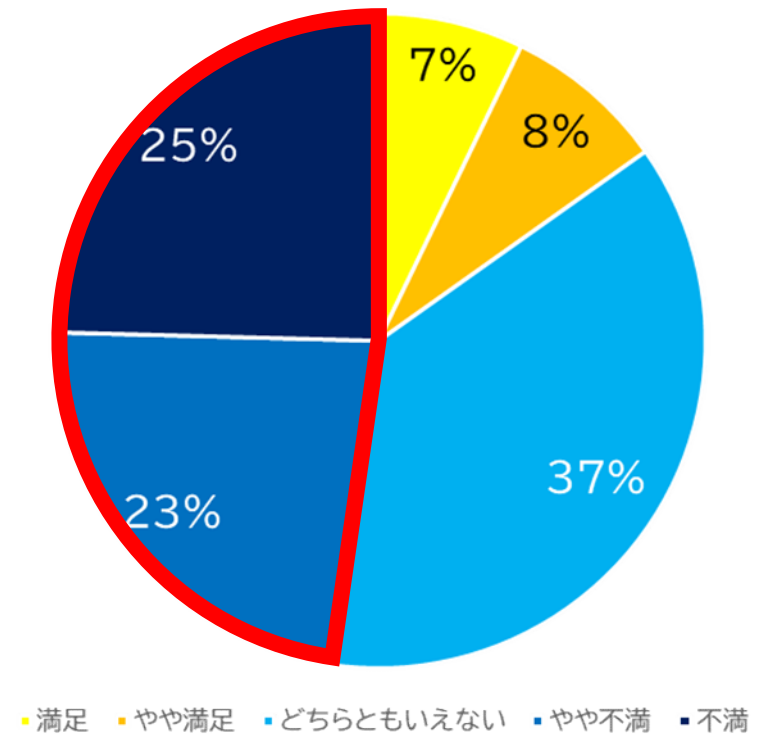
沿線住民アンケート結果（実証運行に対する満足度）

「運行ルート」「停留所位置」に対する不満・やや不満の割合が約半数を占め、満足度が低い状況にある。

■運行ルート n=366



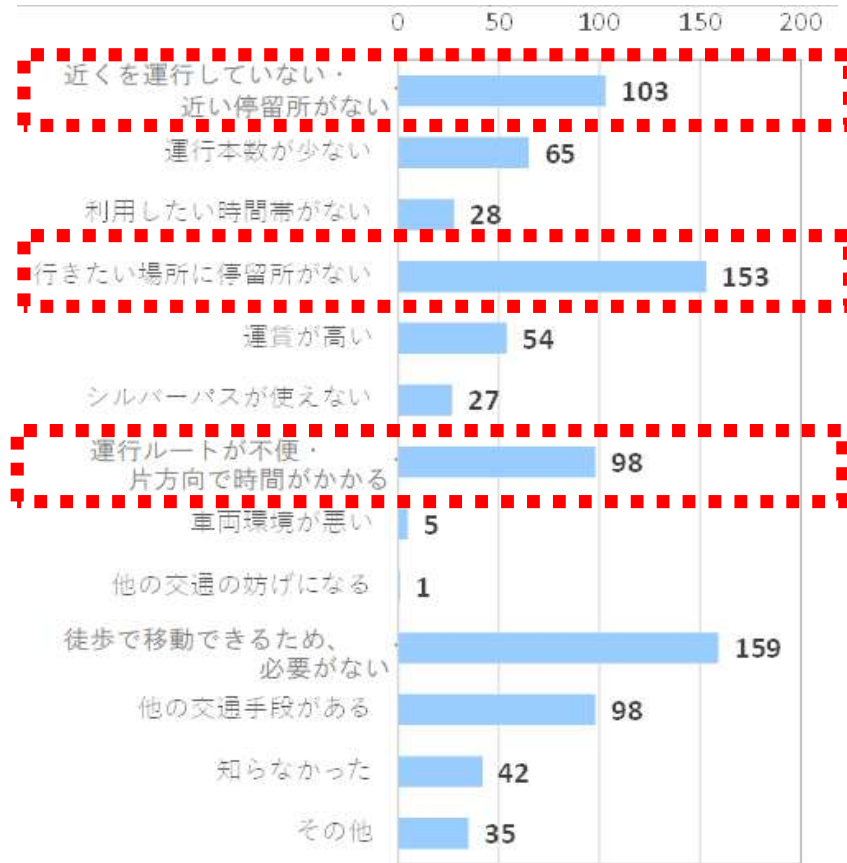
■停留所位置 n=362



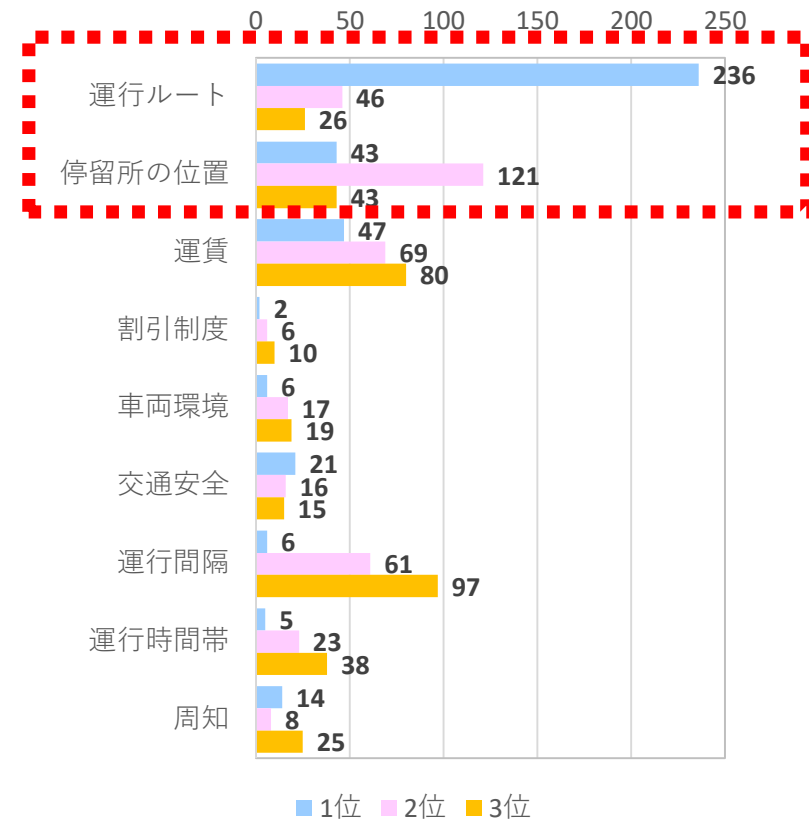
2 令和4年度実証運行結果の検証【①運行ルート・停留所位置】

沿線住民アンケート結果

■実証運行を利用しない理由/3つまで(n=398)



■実証運行で重要と思うもの/上位3つ



「徒歩で移動できるため、必要がない」が最も多いが、「近くを運行していない・近い停留所がない」「行きたい場所に停留所がない」「運行ルートが不便・片方向で時間がかかる」も多い。

「運行ルート」が最も重要なものとして挙がり、2番目に重要なものとして「停留所の位置」が挙げられた。

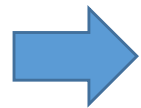
2 令和4年度実証運行結果の検証【①運行ルート・停留所位置】

運行ルート・停留所位置の検証結果

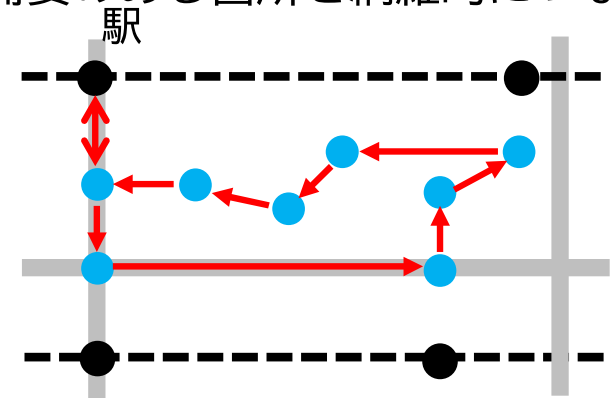
令和4年度運行

対象地域内での運行を条件とし、住民ニーズを満たすよう、需要のある箇所を網羅的につなげるよう調整を進めた。

- ⇒ 停留所位置や安全性等の調整の結果、当初検討していた運行ルートや停留所設置が実現できず、停留所の設置間隔も広くなった。
- ⇒ 需要のある箇所の網羅性を重視した循環型運行（一方向のみの運行）になり、移動の効率性が欠如した。

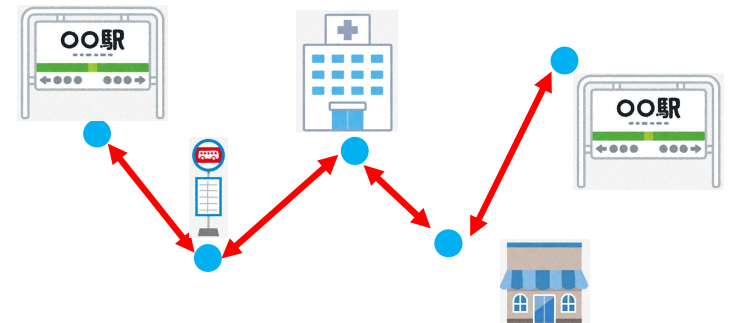


利用率の伸び悩み



令和5年度運行の方向性

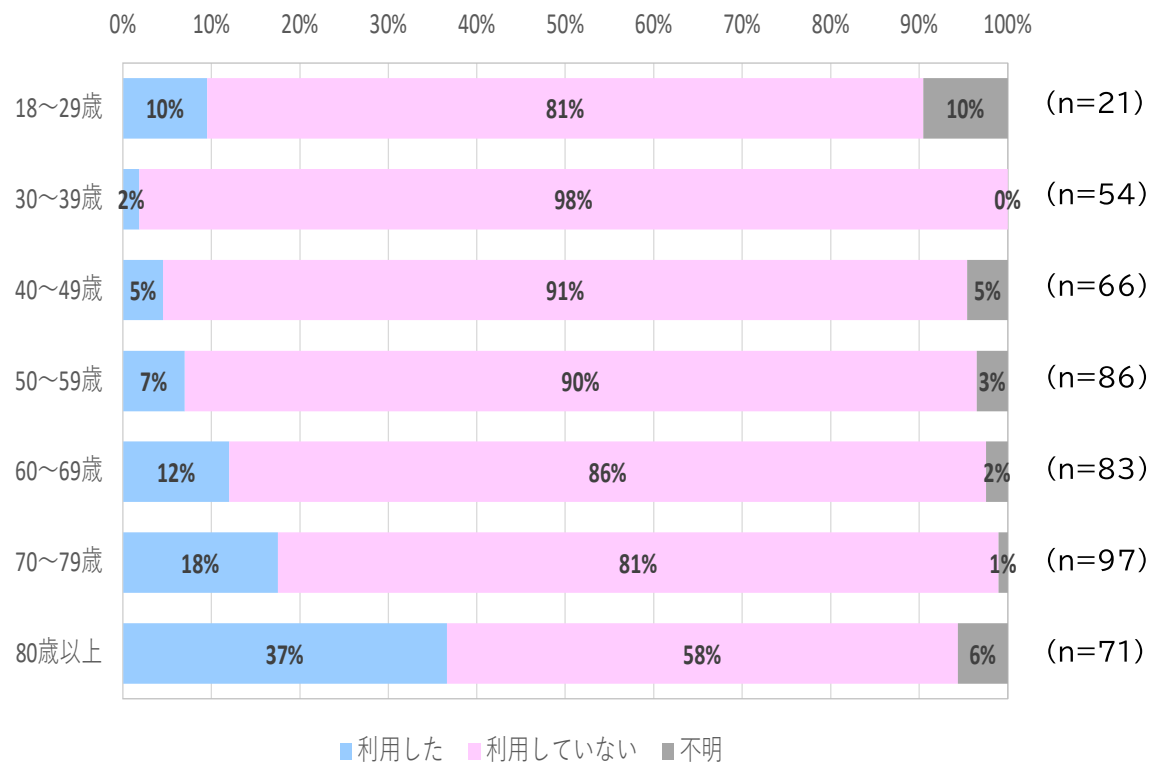
対象地域内に居住する住民の移動傾向を踏まえ、移動傾向に沿った主軸を形成しつつ需要のある箇所をつなぐ、双方方向の運行ルートを設定する。また、間隔に留意して、停留所を設置する。



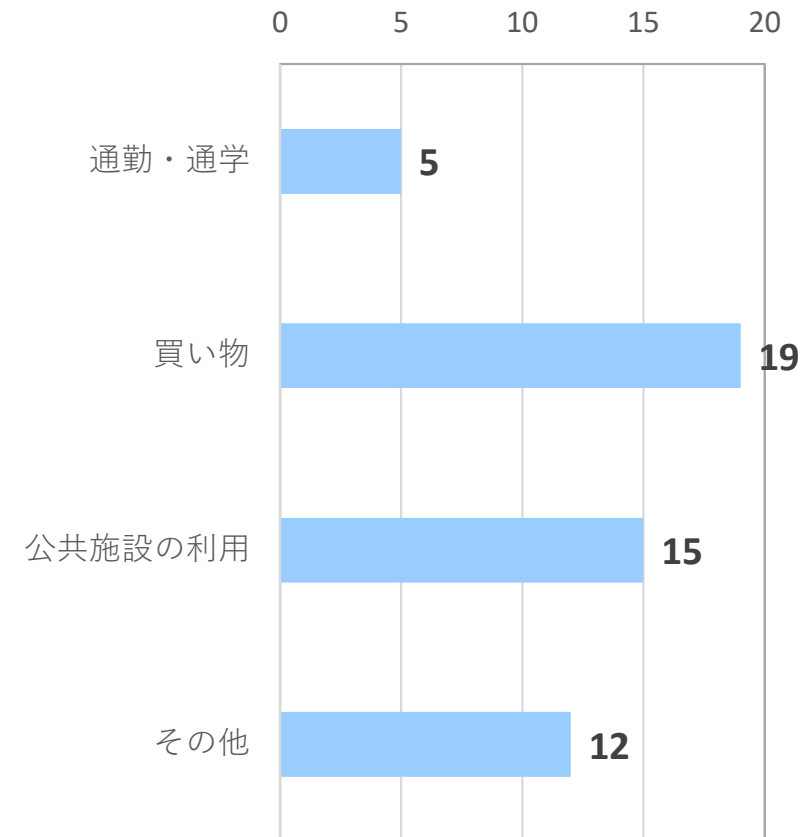
2 令和4年度実証運行結果の検証【②運行時間帯・運行本数】

沿線住民アンケート結果

■実証運行の利用有無



■実証運行利用者の利用目的(n=65)

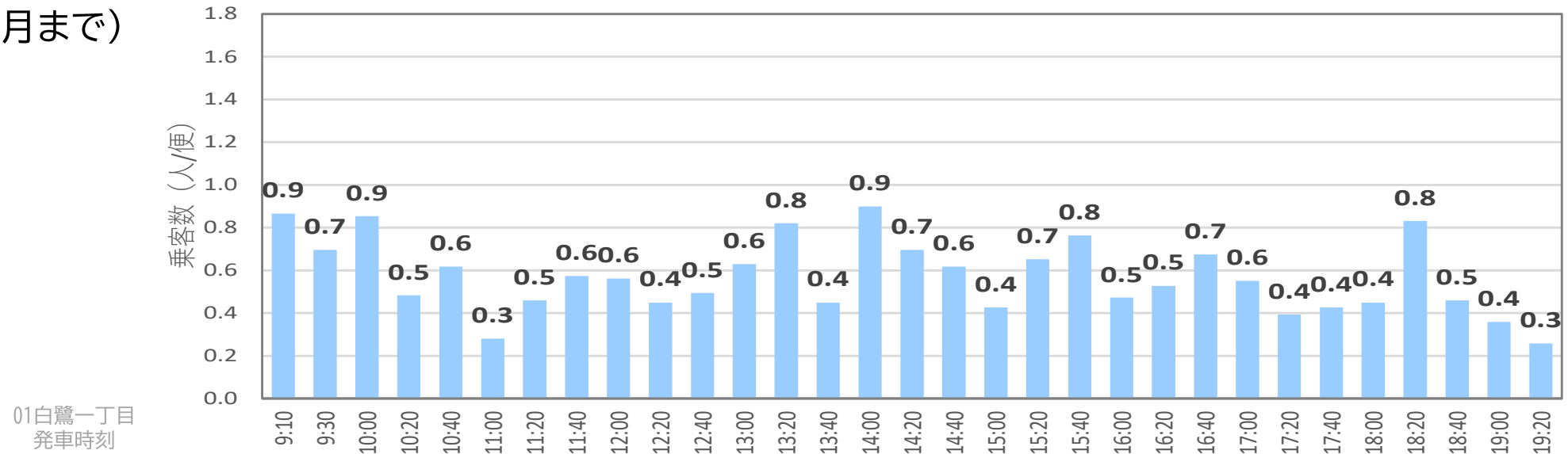


高齢者を中心に利用されており、特に80歳以上の利用者割合が高くなっている。
また、主に買い物や公共施設の利用を目的に利用されている。

2 令和4年度実証運行結果の検証【②運行時間帯・運行本数】

運行便別利用状況（1便あたり平均）

■平日(2月まで)



■土休日(2月まで)

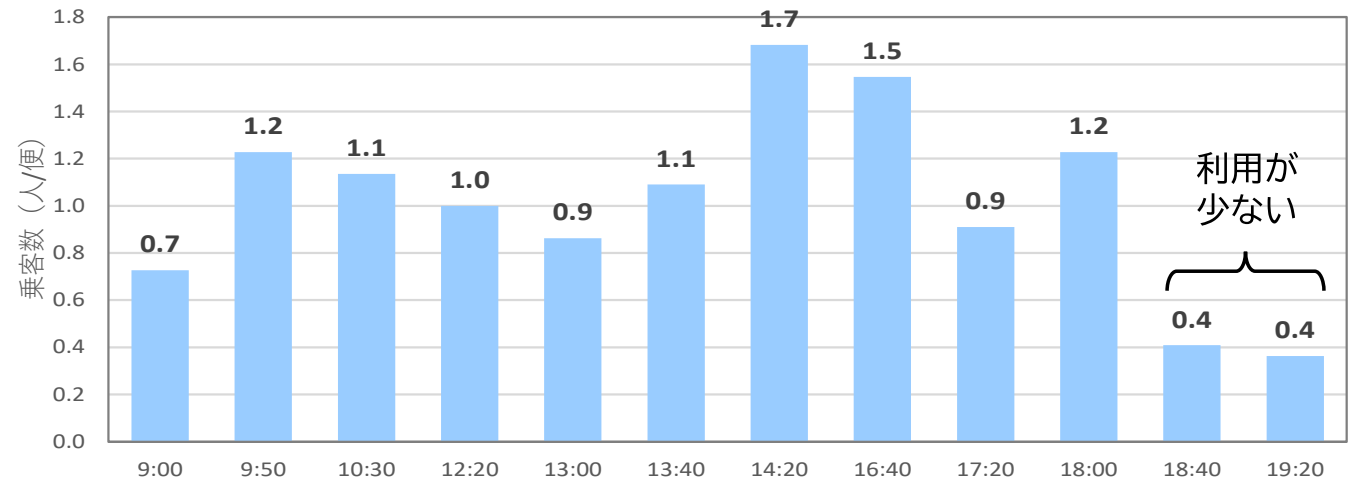


2 令和4年度実証運行結果の検証【②運行時間帯・運行本数】

運行便別利用状況（1便あたり平均）

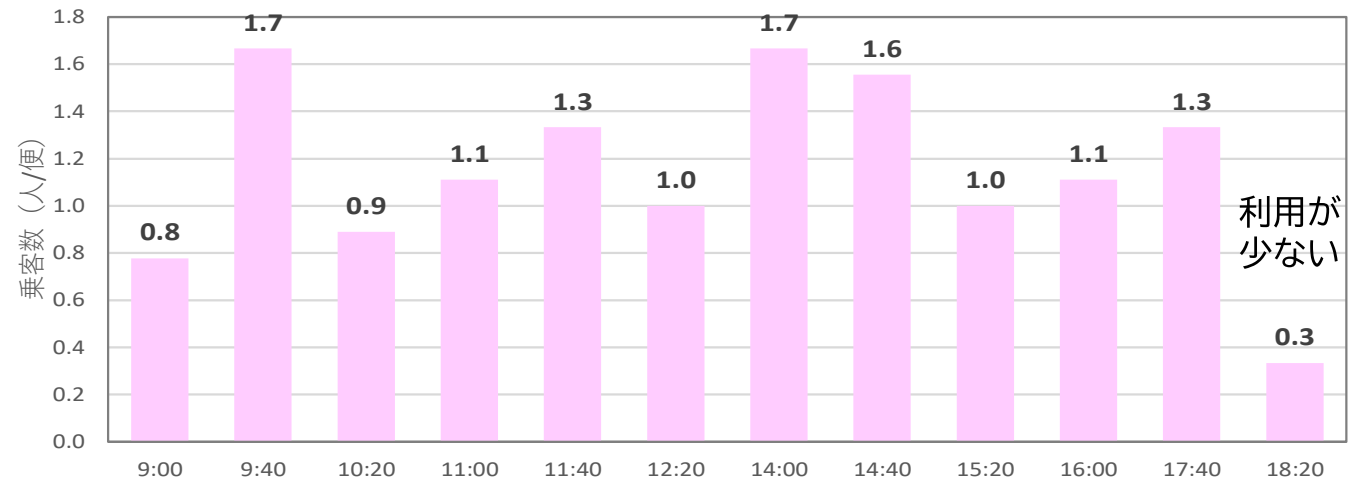
■平日(3月)

01白鷺一丁目
発車時刻



■土休日(3月)

01白鷺一丁目
発車時刻



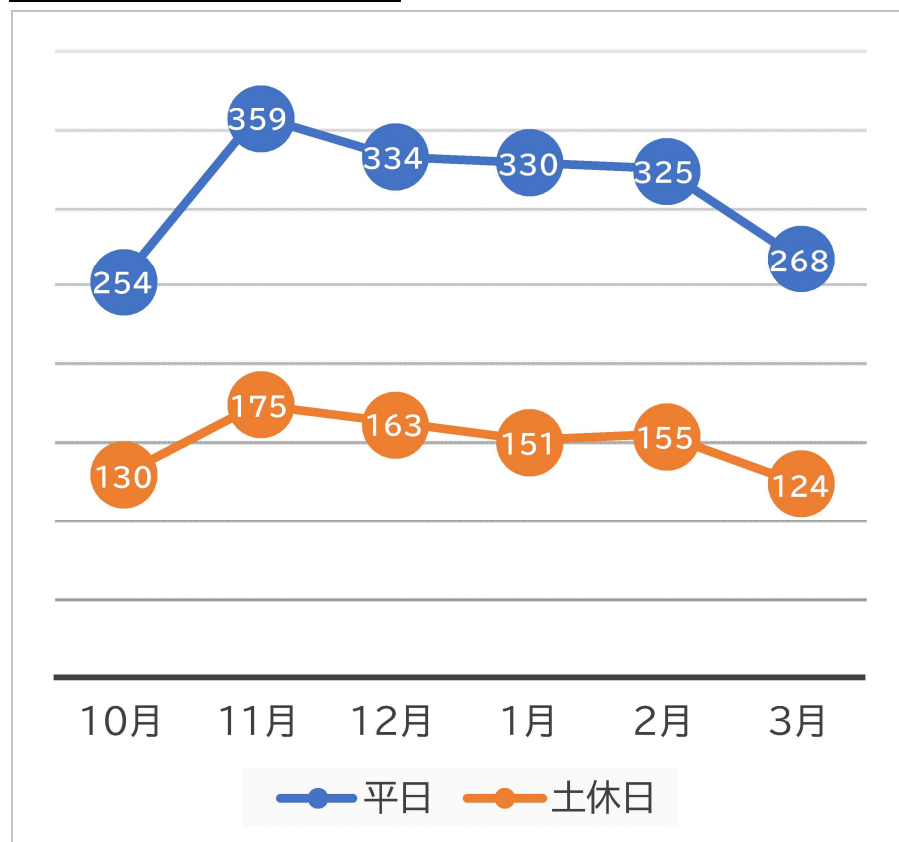
時間帯によって利用者数に波はあるが、18時台以降は概ね利用が少なく、特に土休日は大きく減少した。

2 令和4年度実証運行結果の検証【②運行時間帯・運行本数】

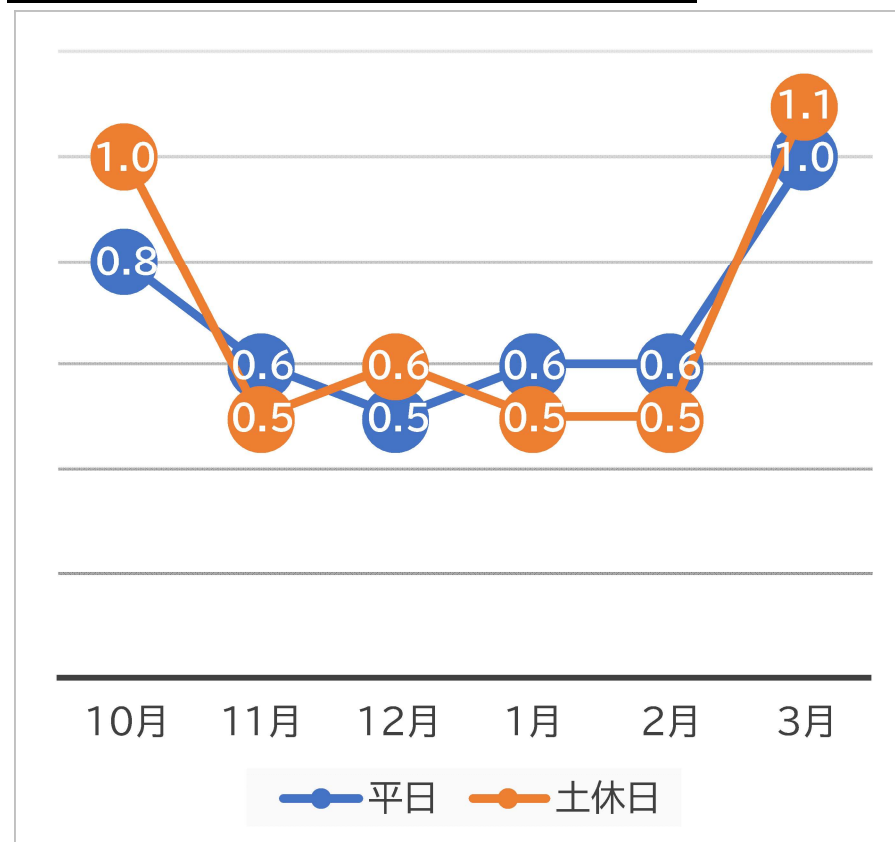
利用実績

令和5年3月に運行本数の削減を行った結果、1便あたり平均利用者数が増加
⇒ 需要と供給のミスマッチが緩和

利用者数【単位:人】



1便あたり平均利用者数【単位:人】



2 令和4年度実証運行結果の検証【②運行時間帯・運行本数】

運行時間帯・運行本数の検証結果

○ 運行時間帯

買い物や公共施設の利用を主な目的に、9時台から18時台前後まで利用者数の目立った変化はなく利用された。一方で、18時台を境に利用者は減少に転じていることから、9時台から18時台までの運行が適切であると考えられる。

○ 運行本数

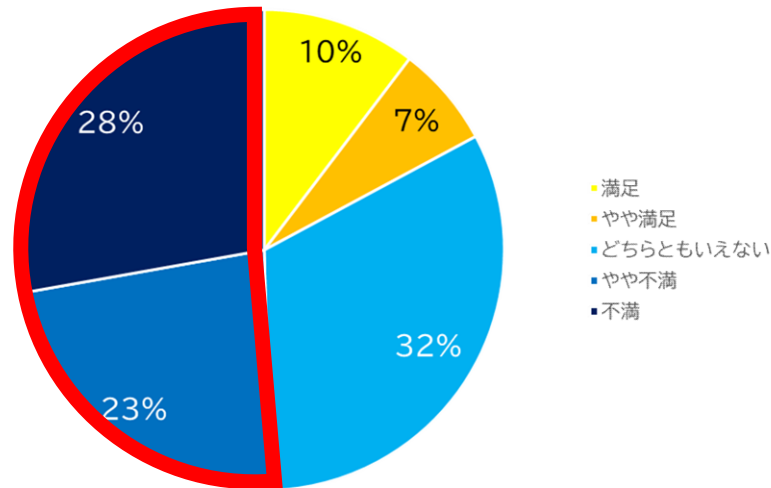
令和5年3月に運行本数の削減を行った結果、1便あたりの平均利用者数が増加し、需要と供給のミスマッチが緩和したことから、実証運行再開時は令和5年3月時の運行本数（12本）と同等とし、その後の利用状況に応じて改善を検討すべきだと考えられる。

2 令和4年度実証運行結果の検証【③運賃】

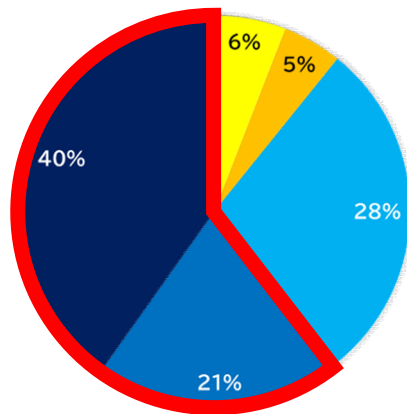
運賃の検証結果

■運賃に対する満足度(沿線住民アンケート結果) ■運賃に対する満足度(利用者アンケート結果)

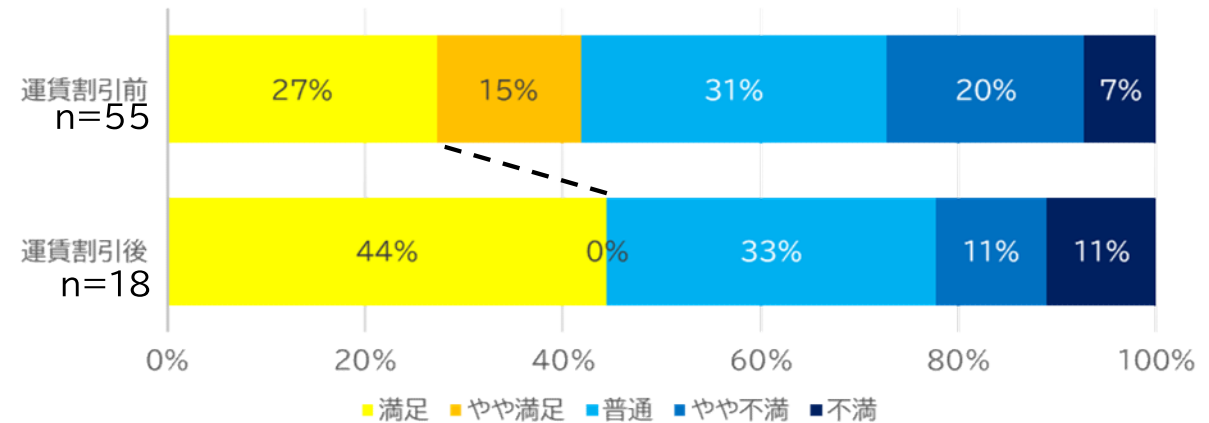
全年齢
n=367



70歳以上
n=102



運賃に対する不満・やや不満の割合が約半数を占め、特に70歳以上は6割以上を占め、利用を敬遠する要因になっていると考えられる。



○運賃割引前 (R4/10～R5/2) は満足の割合が3割に満たなかったが、運賃割引後 (大人100円：R5/3) は満足の割合が増え、1便あたりの平均利用者数が概ね倍増した

運賃の割引は、利用を敬遠している方を含め、一定程度の集客につながると考えられる。一方、収支率への影響や補助額とのバランスを考慮し、利用割合の高い高齢者を対象とした割引制度の導入が望ましい。

2 令和4年度実証運行結果の検証【④安全性】

安全対策

令和4年度運行前、以下の対策を実施

1. 交通管理者との現場実査による安全確認（警察）
2. 運行実施前の運転手教育と、安全懸念箇所の確認（関東バス）
3. 安全懸念箇所に、啓発のための電柱幕の設置（区、関東バス）
4. 周辺小学校への運行に関する情報提供（区）

➡ 昨年度の事故報告無し

参 考

合計運行本数	: 4, 411本
総運行時間	: 約2, 950時間
総運行距離	: 約32, 500km



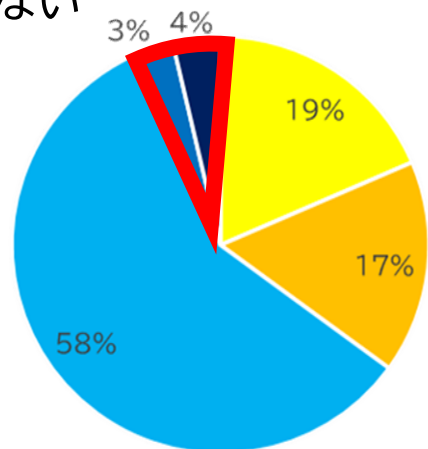
安全対策の一例（安全幕設置）

2 令和4年度実証運行結果の検証【④安全性】

交通安全に関する意見等

■交通安全に対する満足度 (沿線住民アンケート結果) n=351

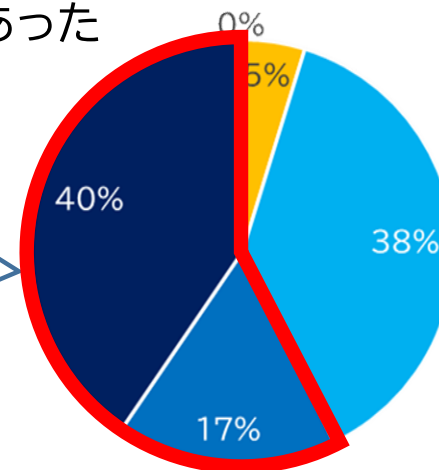
不満・やや不満の
意見は少ない



■満足 ■やや満足 ■どちらともいえない ■やや不満 ■不満

■交通安全に対する満足度 (沿線住民アンケート結果) n=42

実際に利用された方の満足度は
低い傾向にあった



■満足 ■やや満足 ■どちらともいえない ■やや不満 ■不満

・停車中の配送車を追い越すことがあった
・シートベルト着用の案内が少ない
・狭い道路を走行するので不安に感じる
等の意見が影響した可能性

■運転手からの主な意見

- ・各所路地からの飛び出しに注意した
- ・ルート上の左折方向が見えづらい箇所については、最徐行をして運転した
- ・丁字路の右折先が見えづらい場所があり、一旦停止をして確認した

一定程度の安全性は確認できたので、引き続き
以下の対応を行う

- ・運行事業者と安全に関する情報を共有
- ・懸案事項については逐次、交通管理者に相談

2 令和4年度実証運行結果の検証【朝ルートの結果（参考）】

朝ルートの実施

運行事業者の提案を踏まえ、朝の需要把握を目的に通勤時間帯の7～8時台の運行を実施した。

【期間】R5/3/1～R5/3/31 ※平日のみ

【時間】午前7時台～午前8時台

【本数】①白鷺一丁目第3アパート発:6便

①白鷺一丁目発:5便

【運賃】大人100円 小児100円

【区間】右図のとおり

(利用人数及びスクールゾーンを考慮)

【全期間の合計利用者数】

白鷺一丁目第3アパート発:12名

白鷺一丁目発:5名



当該区間においては、朝の時間帯に公共交通サービスに対する需要がないことが明らかになった。



3 令和4年度実証運行結果の評価

評価結果

■令和4年度実績値

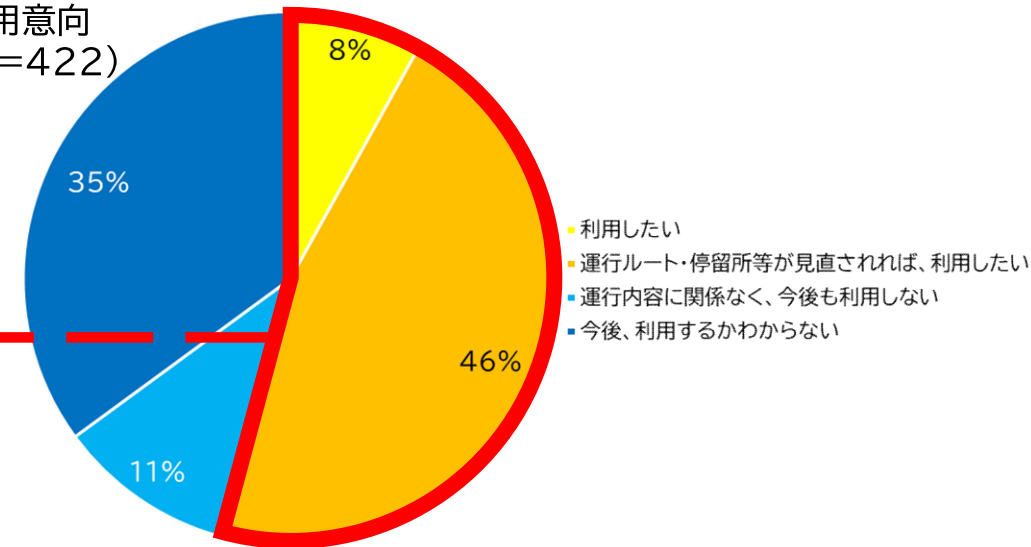
○収支率

約10%【基準値30%・下限値10%】

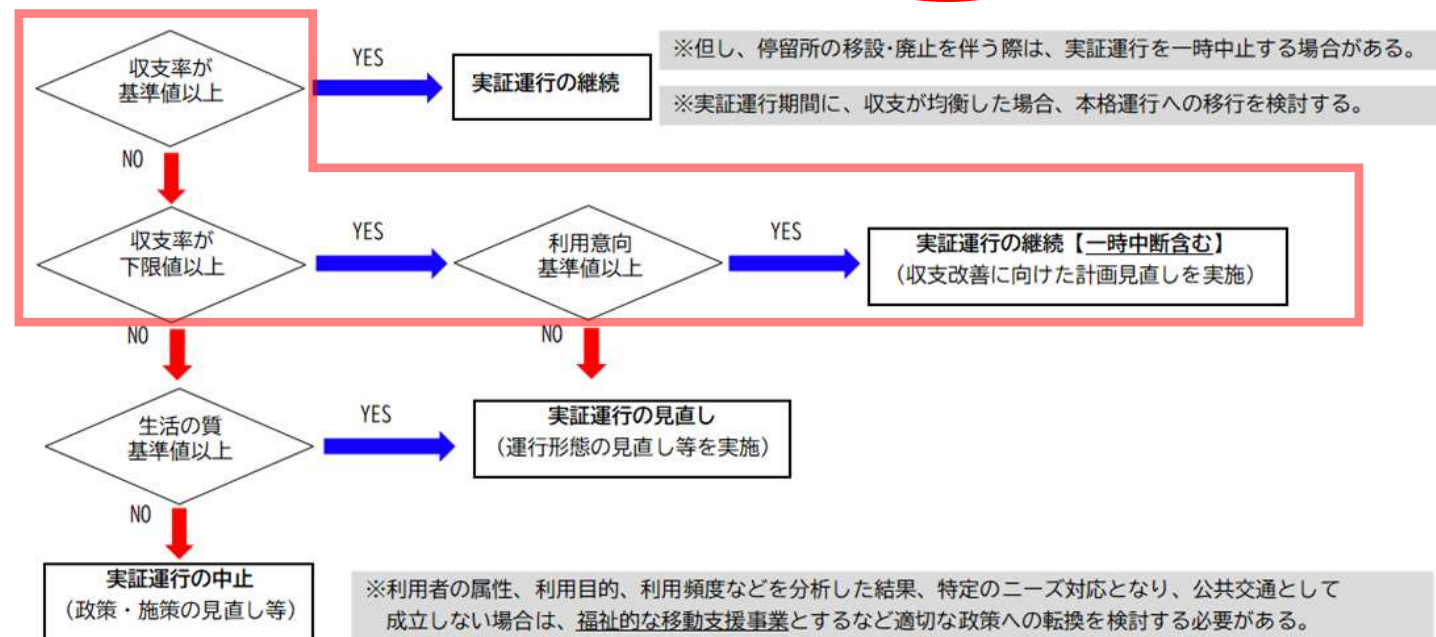
○利用意向

約54%【基準値50%】

今後の実証運行の利用意向
(沿線住民アンケート:n=422)



■評価フローに基づく判定



4 令和5年度実証運行の運行計画（案）について【協議事項】

令和4年度評価を基にした令和5年度運行の考え方

利用率・収支率を改善し、令和5年度実証運行の評価基準（収支率 基準値50%、下限値40%）を達成できるよう、以下の考え方により実証運行を再開する。

① 運行ルート・停留所位置

対象地域に居住する住民の移動傾向を踏まえ、移動傾向に沿った主軸を形成しつつ需要のある箇所をつなぐ、双方向の運行ルートを設定する。また、間隔に留意して、停留所を設置する。

② 運行時間帯・運行本数

9時台から18時台までの運行とし、一日12本程度とする。

③ 運賃

令和4年度と同様に以下の運賃にするほか、高齢者（70歳以上）割引を実施する。

大人 200円

小児 100円

4 令和5年度実証運行の運行計画（案）について【協議事項】

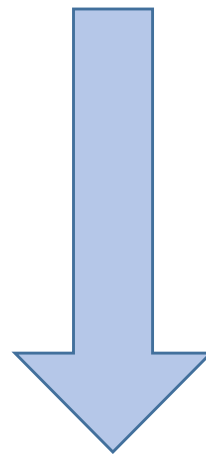
運行ルート設定の考え方

令和4年度検証結果を踏まえ、対象地域に居住する住民の移動傾向に沿った主軸を形成しつつ、需要のある箇所をつなぐ双方向の運行ルートを設定し、目的地までの移動利便性の向上を図る。

■目的地としたい場所 (沿線住民アンケート結果)

(n=487)(MA)	実数	割合
高円寺駅	277	34.2%
野方駅	110	13.6%
病院	107	13.2%
商店街・スーパー	81	10.0%
鷺ノ宮駅	80	9.9%
都立家政駅	45	5.5%
バス停（早稲田通り）	35	4.3%
バス停（環状7号線）	26	3.2%
区民活動センター	22	2.7%
バス停（中杉通り）	16	2.0%
公園	12	1.5%
その他	36	4.4%
行きたい場所はない	61	7.5%

アンケート結果より高円寺駅・野方駅・鷺ノ宮駅・都立家政駅が主軸を形成する目的地となりえる



これらの駅のうち、野方駅・都立家政駅は一方通行等により転回場所・ルートの確保が困難

転回場所・ルートの確保が可能な、高円寺駅方面と鷺ノ宮駅方面を双方向運行でつなぐ

4 令和5年度実証運行の運行計画（案）について【協議事項】

車両

- ① 車種 : トヨタ自動車 ハイエースコンピューター
- ② 台数 : 1台
- ③ サイズ : 全長 5.38m、全幅 1.88m、高さ 2.285m
- ④ 仕様 : ステップ付（乗降口）、ディーゼル車
- ⑤ 定員 : 12名（座席 10、乗務員席 2）
- ⑥ 運行情報 : バスロケシステム搭載
車両位置や所要時間等の最新の運行情報を提供。スマートフォン等
を活用して、リアルタイムに運行状況を確認することが可能。

⑦ 車両イメージ :



運賃

① 普通運賃 : 1乗車 大人…200円（税込み）
小児…100円（税込み）

② 支払方法 : 現金または交通系ICカード

③ 割引制度

関東バス定期券	: 無料
乳児	: 無料
幼児	: 無料*
障害者	: 普通運賃の半額
高齢者割引	: 普通運賃の半額

乳児（1歳未満） 幼児（1歳以上～6歳未満） 小児（小学生以下）
* : 小学生以上に同伴する幼児2名まで

1日乗車券 : 大人…600円 小児…300円

④

- ・ 関東バス路線との乗り継ぎが可能
- ・ 交通系ICカードのみ購入可能

4 令和5年度実証運行の運行計画（案）について【協議事項】

運行ルート

① 起終点：

01 白鷺一丁目第3アパート
(白鷺せせらぎ公園前)

08 高円寺駅北口

② 距離(1周)：

10.75km

③ 運行時間：

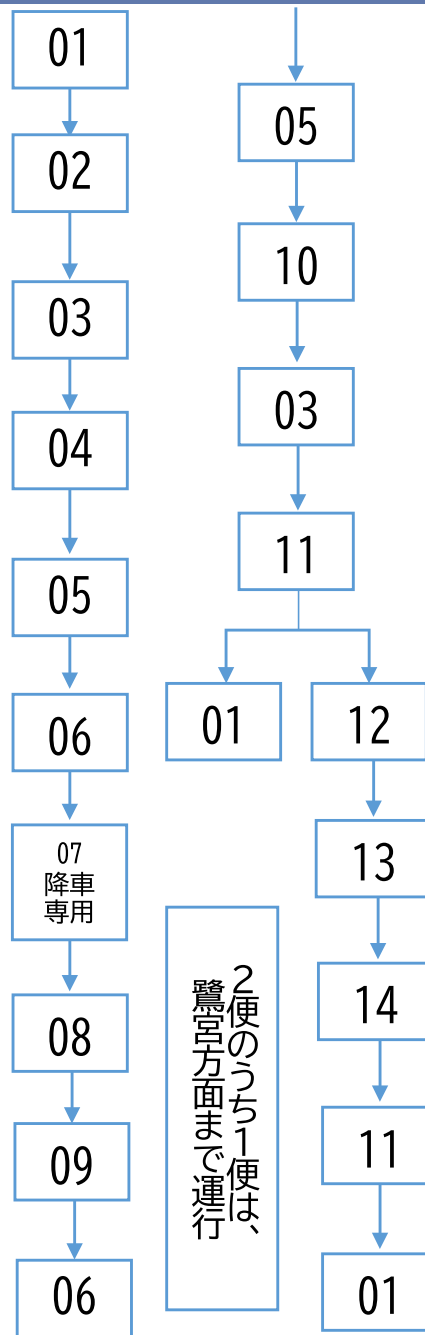
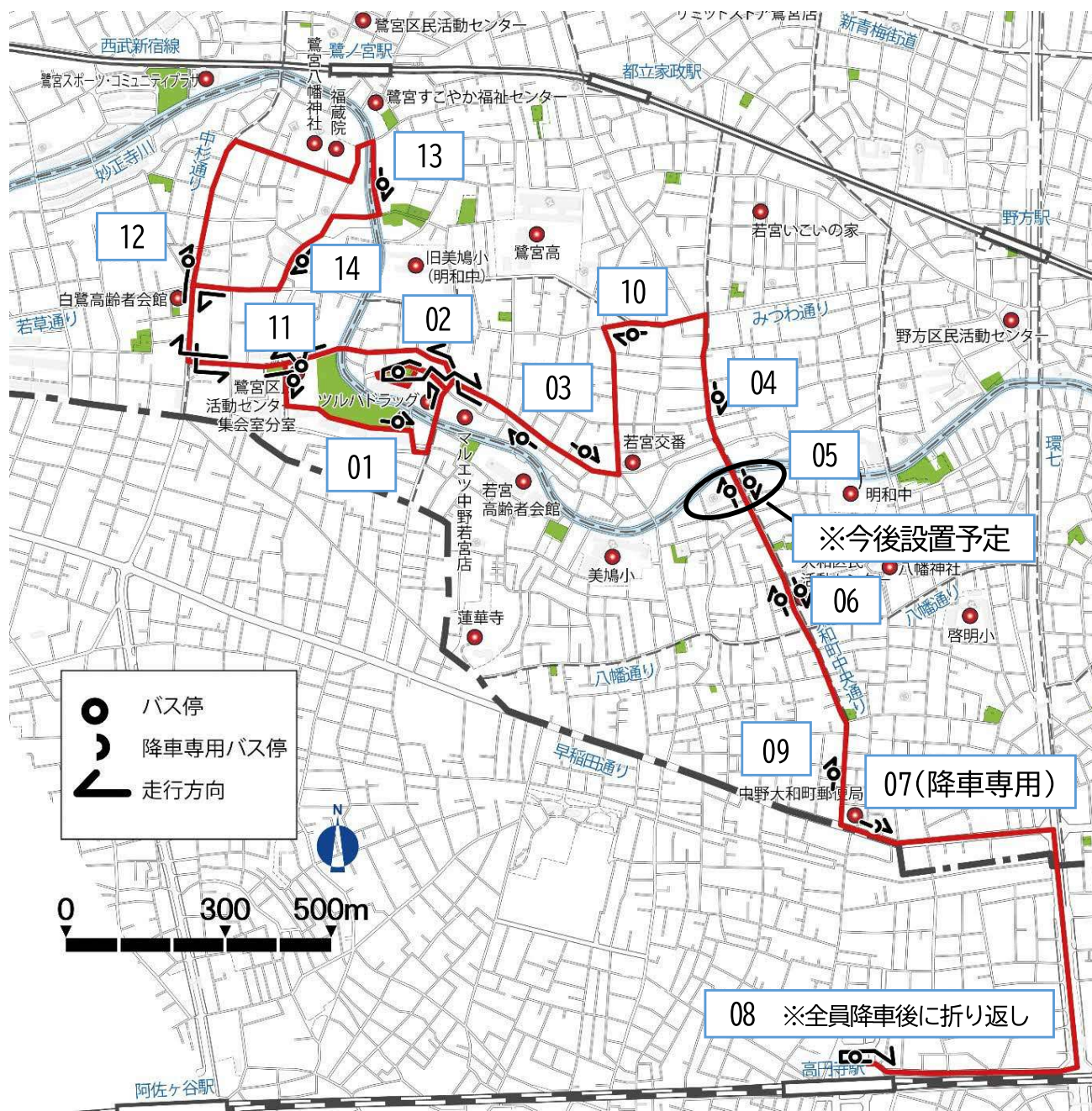
午前9時台～
午後6時台

④ 運行本数：

12便/日程度

⑤ 運行期間：

令和5年9月～
令和6年3月



4 令和5年度実証運行の運行計画（案）について【協議事項】

運行ルート

① 起終点：

01 白鷺一丁目第3アパート
(白鷺せせらぎ公園前)

08 高円寺駅北口

② 距離(1周)：

10.75km

③ 運行時間：

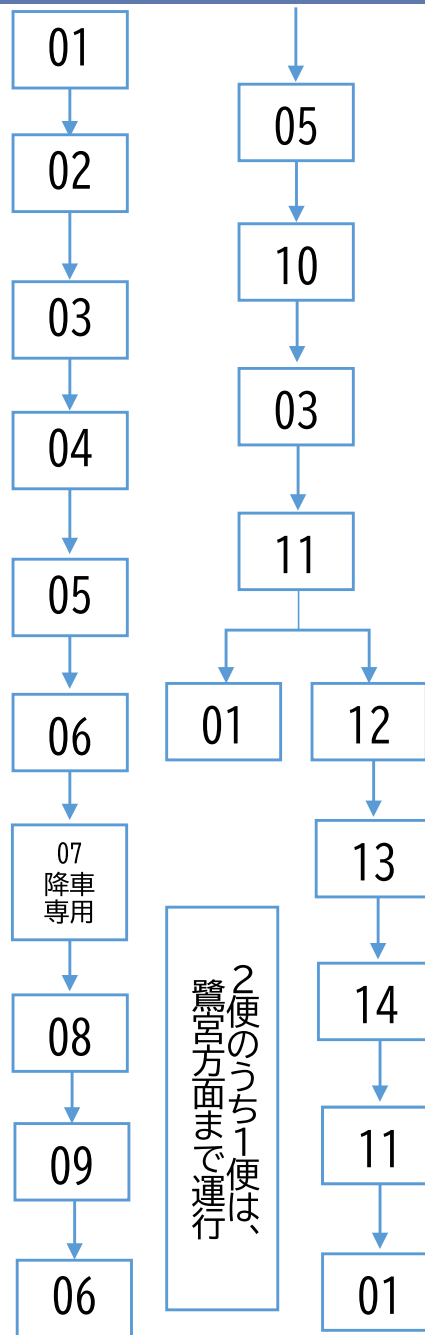
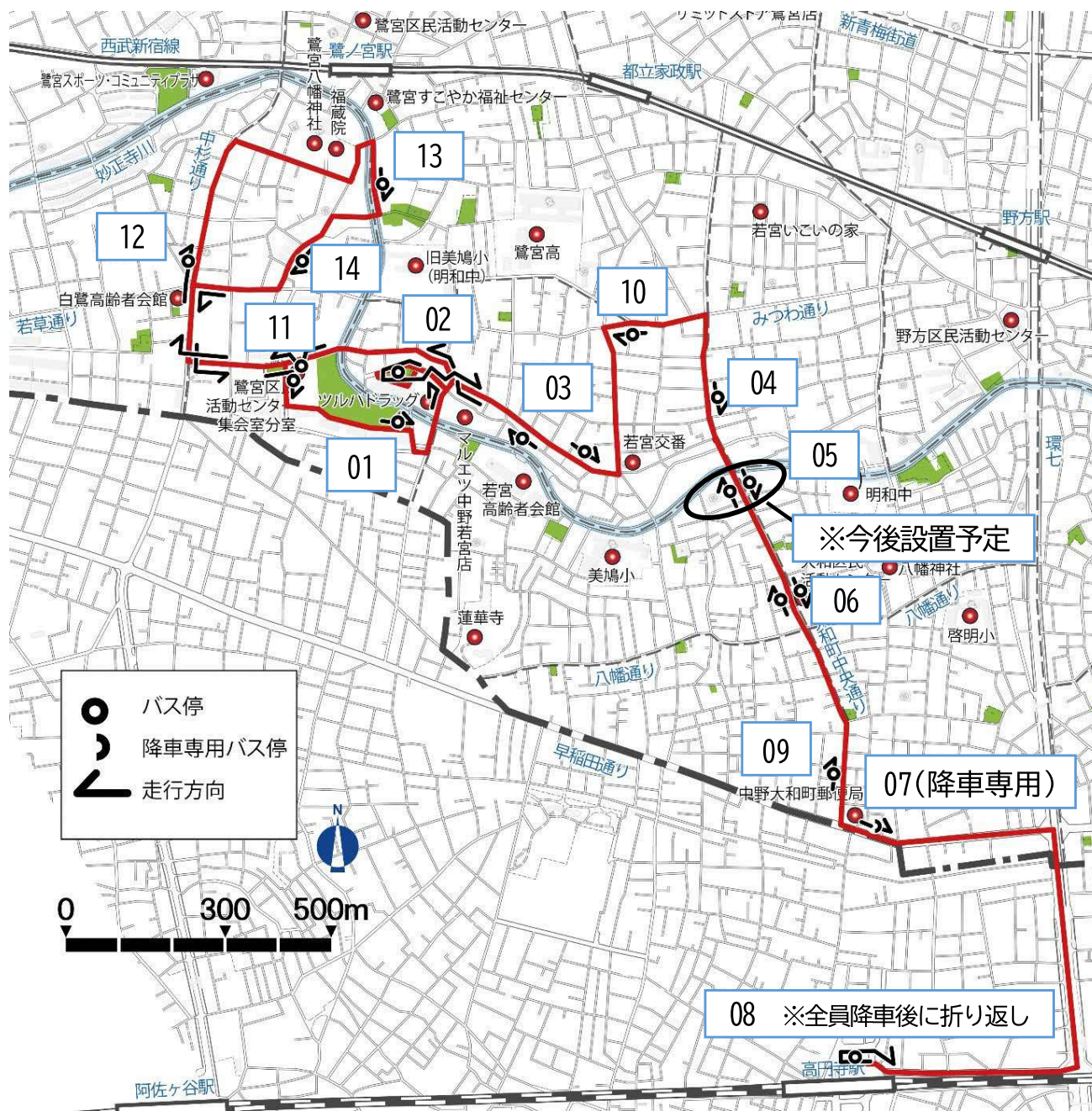
午前9時台～
午後6時台

④ 運行本数：

12便/日程度

⑤ 運行期間：

令和5年9月～
令和6年3月



4 令和5年度実証運行の運行計画（案）について【協議事項】

今後の予定

令和5年

6月13日	中野区交通政策推進協議会（本日）
6月中旬	関東運輸局へ申請
7月	地元関係者との調整
8月 8日 中旬	杉並区地域公共交通活性化協議会において関係者協議 関東運輸局へ、杉並区協議会で協議が調ったことの報告 地域に対する事業の周知等（ポスティング、掲示等） バス停の設置工事
28日	第5回中野区交通政策推進協議会
9月上旬	実証運行に関する事業の許可 実証運行の実施
12月	実証運行の中間評価

令和6年

3月31日	実証運行終了
4月～	令和5年度の実証運行結果の分析・検証